

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター

宮崎県健康増進課
宮崎県衛生環境研究所

■ 宮崎県第8週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 1,196 人 (定点あたり 33.4) で、前週比 102% とほぼ横ばいであった。

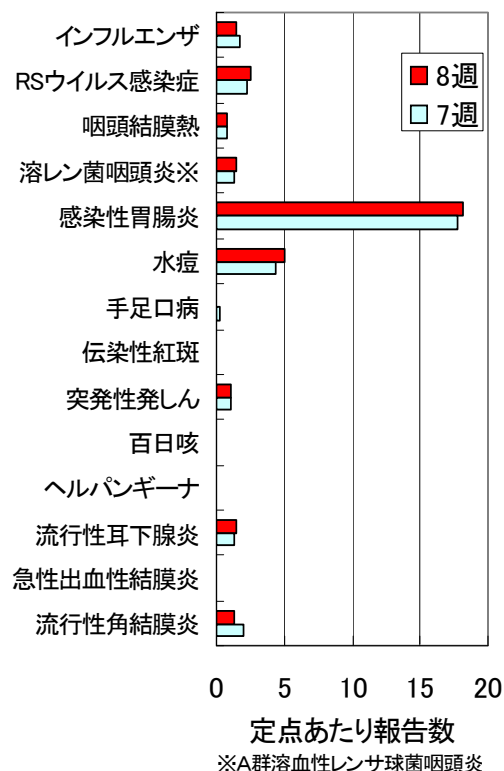
前週に比べ増加した主な疾患は水痘と RS ウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

水痘の報告数は 180 人 (5.0) で前週比 116% と増加した。例年同時期の定点あたり平均値 (4.2) の約 1.2 倍である。日向 (8.8) ・延岡 (7.3) ・日南 (7.0) 保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では 1 歳が全体の約 4 割、6 ヶ月から 3 歳で全体の約 8 割を占めた。

RS ウイルス感染症の報告数は 90 人 (2.5) で前週比 114% と増加した。例年同時期の定点あたり平均値 (0.3) の約 6 倍と多い。延岡 (10.5) ・高鍋 (4.3) 保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳以下で全体の約 7 割を占めた。すべて 6 歳以下の報告であった。

感染性胃腸炎の報告数は 655 人 (18.2) で前週比 102% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値 (14.8) の約 1.2 倍である。日南 (27.7) ・小林 (25.7) ・宮崎市 (23.1) 保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では 1 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

《前週との比較》



■ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
感染性胃腸炎	20	18.2	日南(27.7)、小林(25.7)、 宮崎市(23.1)	1歳~6歳で全体の約6割を占めた。
水痘	7	5.0	日向(8.8)、延岡(7.3)、 日南(7.0)	1歳~3歳で全体の約6割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 1 例が日南保健所から報告された。50 歳代の女性で肺結核。咳がみられた。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : 報告なし。

■ 全国第 7 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 21.5 で、前週比 97% とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患は流行性耳下腺炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した疾患はインフルエンザと RS ウイルス感染症であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 2,907 人 (1.0) で、前週比 133% と増加した。例年同時期に比べても約 1.4 倍と多くなっている。沖縄県 (4.4)、山形県 (2.5)、富山県 (1.8) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳までが全体の約 6 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 4,844 人 (1.6) で、前週比 105% と増加したが、例年同時期の約 8 割である。山形県 (4.2)、鳥取県・新潟県 (各 3.4) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 7 歳で全体の約 6 割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

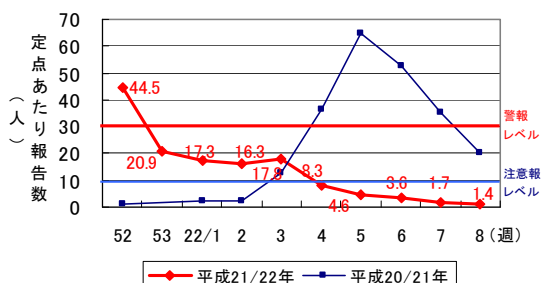
- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 277 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 17 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 3 例、テング熱 1 例、類鼻疽 1 例、レジオネラ症 5 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 10 例、ウイルス性肝炎 3 例、急性脳炎 2 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 11 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 12 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、麻しん 11 例

■ インフルエンザ情報《県内第8週、全国第7週（再掲）》

□ 県内第8週インフルエンザ発生動向

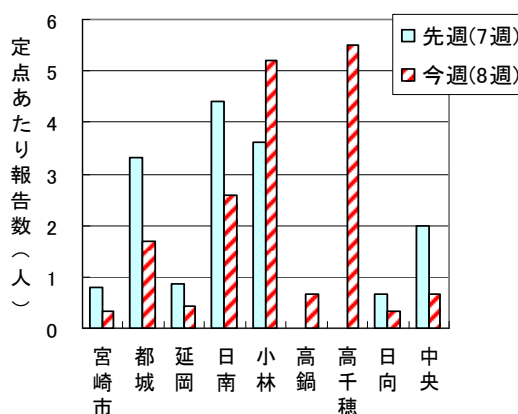
平成22年2月22日～2月28日までの1週間で83人（定点あたり1.4）の報告があり、前週比82%と減少した（図1）。高千穂（5.5）・小林（5.2）・日南（2.6）保健所からの報告数が多く（図2）、年齢別では5歳以下が全体の28%、6-9歳が24%、10-14歳が20%、15-19歳が5%、20歳代-50歳代が22%、60歳以上が1%を占めた（図3）。

（図1）インフルエンザ週別発生状況（過去10週）

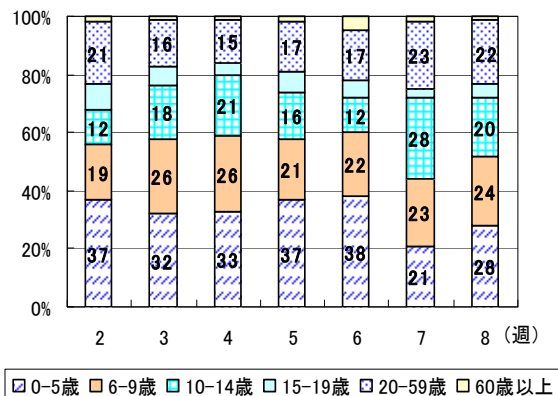


	第8週 (2/22～2/28)	累計 (21/30～22/8週)
集団発生件数	0	429
遺伝子検査陽性件数	3	414
型別		
AH1亜型(ソ連型)	0	0
AH3亜型(香港型)	0	2
AH1pdm(新型)	3	412
入院患者数	1	257
重症患者数	0	15
死亡者数	0	4

（図2）インフルエンザ保健所別報告数



（図3）年齢群別割合の推移（県内）



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○：警報レベル、△：注意報レベル、－警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (8週)		1週前 (7週)		2週前 (6週)		3週前 (5週)		4週前 (4週)		5週前 (3週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	0.3	－	0.8	－	1.8	－	2.9	－	5.2	－	14.3	△
都城	1.7	－	3.3	－	6.5	－	5.9	－	10.8	△	19.9	△
延岡	0.4	－	0.9	－	4.9	－	4.9	－	6.7	－	13.4	△
日南	2.6	－	4.4	－	4.2	－	7.2	－	14.2	△	24.2	△
小林	5.2	－	3.6	－	6.4	－	9.6	－	16.0	△	28.8	△
高鍋	0.7	－	0.0	－	1.2	－	2.8	－	9.7	－	21.3	△
高千穂	5.5	－	0.0	－	0.5	－	3.5	－	2.5	－	6.5	－
日向	0.3	－	0.7	－	3.2	－	2.5	－	5.2	－	14.7	△
中央	0.7	－	2.0	－	2.0	－	3.7	－	3.0	－	16.0	△

□ 全国第7週インフルエンザ発生動向

平成22年2月15日～2月21日までの1週間で8,438人（1.8）の報告があり、前週比63%と減少した。福井県（5.2）、佐賀県（4.6）、沖縄県（3.7）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の27%、6-9歳が27%、10-14歳が18%、15-19歳が5%、20歳代から50歳代が21%、60歳以上が2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第08週(02月22日～02月28日)

疾病名		第7週	第8週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	101	83	5	17	3	13	26	4	11	2	2
	定点あたり	1.71	1.41	0.33	1.70	0.43	2.60	5.20	0.67	5.50	0.33	0.67
RSウイルス 感染症	報告数	79	90	4	10	42	1		17	2	11	3
	定点あたり	2.19	2.50	0.44	1.67	10.50	0.33	0.00	4.25	2.00	2.75	1.50
咽頭結膜熱	報告数	28	30	2	7	5	7		1		8	
	定点あたり	0.78	0.83	0.22	1.17	1.25	2.33	0.00	0.25	0.00	2.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	52	6	4	19	3	3	4	2	7	4
	定点あたり	1.31	1.44	0.67	0.67	4.75	1.00	1.00	1.00	2.00	1.75	2.00
感染性胃腸炎	報告数	641	655	208	110	35	83	77	62	10	43	27
	定点あたり	17.81	18.19	23.11	18.33	8.75	27.67	25.67	15.50	10.00	10.75	13.50
水痘	報告数	155	180	39	32	29	21	9	6	4	35	5
	定点あたり	4.31	5.00	4.33	5.33	7.25	7.00	3.00	1.50	4.00	8.75	2.50
手足口病	報告数	8	7	4			1		1		1	
	定点あたり	0.22	0.19	0.44	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	2	2								
	定点あたり	0.03	0.06	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	36	9	9	6	1	2	3		3	3
	定点あたり	1.03	1.00	1.00	1.50	1.50	0.33	0.67	0.75	0.00	0.75	1.50
百日咳	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	49	52	4	6	20		3	1		14	4
	定点あたり	1.36	1.44	0.44	1.00	5.00	0.00	1.00	0.25	0.00	3.50	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	8	7	1							
	定点あたり	2.00	1.33	2.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～8週)

2類感染症	結核	21例(1)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例			
4類感染症	つつが虫病	1例	後天性免疫不全症候群	1例	梅毒
5類感染症	急性脳炎	3例			
	麻しん	1例			

()内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

RS ウイルス感染症に気をつけましょう。(2 月 22 日～2 月 28 日)

RS ウイルス感染症の報告が増えています。延岡市周辺で患者さんが多く、ほとんどが 1 歳以下の子どもたちです。

ウイルスによっておこる急性呼吸器感染症で冬に流行し、4～5 日の潜伏期間後、鼻水、咳、38～39 度の発熱など風邪の症状が現れ、通常 1～2 週間で治ります。1 歳未満の乳児がかかりやすく、特に 6 ヶ月未満の小さなこどもは、急激に悪化し、重症化（気管支炎や肺炎）することもあります。痰が詰まったような咳やゼーゼーとのどが鳴るなどの症状がみられたら早めに医療機関を受診しましょう。

このウイルスは感染力が強く、免疫ができにくいため繰り返し感染しますが、何度もかかるうちに徐々に免疫ができて症状は軽くなります。2 歳以上になると鼻カゼ程度ですむこともあります。

患者さんの咳の飛沫を吸い込んだり、ウイルスが付着した手指や物を介して感染します。予防はかぜやインフルエンザと同様で、外出後の石けんによる手洗い、うがいを必ず行うようにしましょう。乳幼児の多い保育園では感染が急速に広がることもあるので、積極的に手洗いうがいを行いましょう。